

令和6年度 第1回

# ケアマネとリハ職の 情報共有の練習会

定員 75名

参加費無料

今回の事例：

目標設定に悩む  
脳血管障害の一症例

日時：

令和6年

7月19日（金）

19時00分-20時30分

場所：

姫路市総合福祉会館  
5階 第1・2会議室

対象者：

ケアマネジャー等、  
リハ職（ST・OT・PT）

企画・協力：

- ・兵庫県介護支援専門員協会姫路支部
- ・兵庫県言語聴覚士会中播磨ブロック
- ・兵庫県作業療法士会中播磨ブロック
- ・兵庫県理学療法士会中播磨支部

<問い合わせ・申込先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

TEL：079-295-3330 FAX：079-295-3351

E-mail：med-care@himeji-med.or.jp

【ケアマネの皆さん】

リハ計画書の  
活用術を学ぼう！

【リハ職の皆さん】

伝え上手な  
リハ職になろう！

内容

ケアマネジャーとリハ職がグループワークで、一緒にリハビリテーション計画書の情報を整理し、どのようにケアプラン作成に活用できるかを検討する

練習会で学べる  
ポイント

リハビリテーション計画書の

【ケアマネ】

- ①読み取り方
- ②目標設定や支援上のリスク管理への活用方法

【リハ職】

- ①実際の伝わり方
- ②ケアマネジャーや介護職に必要な情報の伝え方

★事前申し込みが必要です。  
裏面をご確認ください。

## ケアマネとリハ職の情報共有の練習会 「目標設定に悩む脳血管障害の一症例」

2024年7月19日（金）19時00分～20時30分

### 【申し込み方法 および申し込み先】

#### 申し込み方法①「参加申し込みフォーム」からのお申し込み

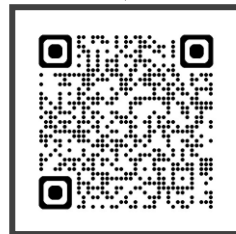
※可能な限り「参加申し込みフォーム」からのお申し込みにご協力ください

URL : <https://forms.gle/FelQs81tu6BrMczs9>

(当センターホームページ「研修スケジュール」からも申し込みできます)

参加申し込みフォームに必要事項を入力しお申し込みください

参加申し込み  
フォームは  
こちら



#### 申し込み方法② メールまたはFAXにてお申し込み

E-mail : [med-care@himeji-med.or.jp](mailto:med-care@himeji-med.or.jp)

FAX : 079-295-3351

下記必要事項をお知らせください

#### 《必要事項》

- ①研修会名    ②氏名    ③所属機関名    ④職種    ⑤E-mailアドレス  
⑥電話番号    ⑦FAX番号  
⑧必要な配慮がございましたらご記入ください

※直接連絡の上、相談させていただきます。状況により、対応できない場合はご了承ください

<例> 車いすスペース、障害者等専用駐車スペース、介助者の同行、手話通訳、  
要約筆記、点字資料、拡大文字資料、その他（具体的に）

### ★申し込み締切：2024年7月12日（金）

※定員に達した時点で受付を終了しますので、お早めにお申し込みください

- ・メール（Google formの自動返信など）で受付完了のお知らせをお送りいたします。  
お申し込みから4～5日経ってもお知らせが届かない場合は、受付できていない場合がありますので、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・当方からの連絡事項等がある場合、お申し込み時に必要事項にてお知らせいただいたメールアドレスにお送りいたしますので、適宜メールのご確認をお願いします。

#### <お問い合わせ先>

姫路市在宅医療・介護連携支援センター（受託者：姫路市医師会）

対応時間：月曜日～金曜日（祝日・8/15・年末年始を除く）午前8時35分から午後5時20分

TEL : 079-295-3330

E-MAIL : [med-care@himeji-med.or.jp](mailto:med-care@himeji-med.or.jp)

FAX : 079-295-3351

ホームページURL : <https://www.himeji-renkei.com/>

※研修会当日は、お問い合わせやメールへの対応ができないことがあります

ホームページは  
こちらからでも  
ご覧いただけます



## 第7回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和5年11月2日（木）19時-20時30分 姫路市医師会館



リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）の内容をケアマネジャーとリハ職と一緒に読み取ることで、  
《ケアマネ》生活機能（活動・参加）の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか  
《リハ職》どんな情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。  
第7回は、ケアマネジャー20名、リハ職23名、他専門職1名が参加されました。

今回は、言語聴覚士会より事例提供（リハビリテーション計画書をご作成）をいただきました。9つのグループに分かれて話し合いを行いました。日常の業務では聞きにくかったちょっとした疑問や、率直な意見交換などを行い、和やかな雰囲気の中、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ～グループ発表のご意見より～

- ・《ケアマネ》記載内容について難しい部分がある場合、計画書（紙）だけでなく直接の情報共有が重要。  
→《リハ職》記載内容についての確認や、すり合わせ等が必要
- ・《リハ職》ケアマネが利用者の状態をより正確にイメージすることができるよう、わかりやすい言葉で具体的に表現する。  
→《ケアマネ》リハ計画書に記載されている見通しや目標を共有したうえで、ケアプランに反映させることが大切。

### 《参加者アンケート 回答（一部抜粋）》

- ・デイケア中の取組みから、具体的な生活の中での取組みに転換し考えられるように、多職種との擦り合わせの機会をもつ必要性を感じた。リハ会議や担当者会議の機会を大切にしていきたい。（ケアマネ）
- ・活動を阻害している因子が何によるものかリハ計画書の読み取りから明確にすることで、将来像を予測し、本人の強みを活かしながら本人の目指す本人像に近づけるように考えていくことが大切だと感じた。（ケアマネ）
- ・疑問に思うことに対して、リハ職に質問（確認）する勇気を持つことが大切だと感じた。（ケアマネ）
- ・点数評価などでは、ケアマネは対象を想像し辛いというのを聞き、文章や会話の中でどれだけ噛み砕いて説明できるかが大切だと感じた。（リハ職）
- ・今後は、直接お話ししながら書面の内容をすり合わせる工程を入れようと思います。（リハ職）
- ・ケアマネがリハ計画書のどこを見ているのか分かった。具体的な目標の記載が大切だと思った。（リハ職）

**「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は次年度も開催を予定しております【日時未定】**  
今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます